



## エストニア月間情勢報告

【2026年9月】

在エストニア日本国大使館



### 【9月の注目記事】

#### 内政

- 2日、国会、マディセ法務長官を次期大統領に選出。
- 15日、ヘレム国防相（前国防軍司令官）、ケルド・エネルギー環境相（前経済産業相）、リーナ・ヴァフトラス経済産業相（前ビジネス・イノベーション財団理事）が就任。

#### 外交

- 13～15日、参議院公式派遣重要事項調査第3班、エストニア訪問。
- 20～24日、カリス大統領とツァフクナ外相、国連総会及び関連行事に出席。
- 24日、エストニア、EU制裁が解除されたロシアの富豪2人に対する国内制裁を発動。

#### 防衛

- 21～25日、タリン防衛週間の一環で、飯田将文・防衛研究所先進領域研究部長および小泉悠・東京大学先端科学技術研究センター准教授がABCD会議に登壇。

#### 経済

- 22日、バルト三国首相、レール・バルティカ建設に関するビデオ会議を実施。共同声明で次期EU予算期間中（2028～2034年）に開通させる旨表明。

#### SNS

大使館HP：[https://www.ee.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.ee.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

中村耕一郎大使インスタグラム：[https://www.instagram.com/amb\\_japan\\_estonia/](https://www.instagram.com/amb_japan_estonia/)

大使館インスタグラム：<https://www.instagram.com/japanembassyestonia/>

大使館フェイスブック：<https://www.facebook.com/share/1Yecpayktp/?mibextid=wwXIfr>



## 1 内政の主な動き

- 1 日、検察、会計義務違反で昨年から国防省ほかを捜査している旨公表。翌 2 日、国防省がウクライナ向け砲弾の調達に前金 6, 0 0 0 万ユーロを支出したにも関わらず、現物が納入されていなかったことが判明。同日、ペフクル国防相（改革党）は辞任を表明。エストニアは EU やドナー国の資金を使いウクライナ向け砲弾を調達しているが、今後、未回収分は返還を迫られる恐れ。
- 2 日、国会、唯一の大統領候補となったマディセ法務長官を次期大統領に選出。支持 7 1、白票 7、欠席等 2 3。改革党、エストニア 2 0 0 党、社民党、祖国党が擁立。1 0 月 1 2 日に就任予定。
- 7 日、気候省等が入居する合同庁舎、外壁に複数の弾痕のような穴があるとの通報。4 月には窓が空気銃で撃たれて破損したが、犯人不明。
- 8 日、2 0 2 5 年学習到達度調査（P I S A）、欧州では数学 1 位、科学 1 位、読解 2 位。
- 9 日、スット・エネルギー環境相、自身の SNS で辞任を表明。
- 1 0 日、政府、クースク国防省次官の解任を決定。会計問題の責任が問われていたほか、次期国防相候補のヘレム国防軍前司令官が就任に際して次官交代を条件としたためとの報道。2 6 日、政府はクリスチャン・マエ国防省政策計画局長を新しい次官に任命。
- 1 1 日、マディセ次期大統領、ノゲネ Tallink Grupp 社（フェリー）前社長を大統領府長官に指名。その後、安全保障顧問にサクス元外務省次官、外交顧問に外交官のリース・リブレ＝ヤルマ氏、内政顧問にスヴェット元インフラ相が就任との報道。
- 1 4 日、国会国防委員会、タリ議員（エストニア 2 0 0）を委員長に選出。ストイチェスク前委員長が今夏、エストニア 2 0 0 離党に伴い国防委員会から離脱した経緯。
- 1 5 日、カリス大統領、ミッハル首相の提案に基づきヘレム国防相（前国防軍司令官）、ケルド・エネルギー環境相（前経済産業相）、リーナ・ヴァフトラス経済産業相（前ビジネス・イノベーション財団理事）を任命。辞任したペフクル国防相及びスット・エネルギー環境相は翌日、国会議員に復職。
- 1 7 日、ヴァフトラス経済産業相、財団理事時代に同氏が役員を務める会社の関連企業 3 社が財団から補助金約 1 2 5 万ユーロを受領していたことが判明。大臣は補助金配分に関与しなかった上、同社オーナーではなく、役員報酬も得ていない旨釈明。
- 2 5 日、8 月政党支持率（Emor 社）：祖国 2 4 %、中央党 1 7 %、社民党 1 7 %、改革党 1 5 %、保守人民党 1 3 %、右派 1 0 %、エストニア 2 0 0 党 2 %。
- 2 8 日、政府、2 1 3 億ユーロ規模の 2 0 2 7 年国家予算案及び国家予算戦略（2 0 2 7 ~ 3 0 年）を承認。歳入 1 9 4 億、歳出 2 0 2 億、投資 1 2 億ユーロ。財政赤字は GDP 比 4 %に減少の見込み。
- 2 8 日、オレグ・ベセディン、エストニアの独立等に反する活動と国際制裁に関する違反で禁固 7 年の判決。ユーチューブでロシアの侵略戦争を正当化するナラティブを拡散。
- 3 0 日、無所属のキーリ議員（元改革党）とクンナス議員（元国会保守人民党グループ）、

中央党との協力と同党名簿での来年国会選挙への立候補の方針を発表。入党はせず。

● 30日、エストニア200と緑の党、合併を検討との報道。

## **2 外交・その他対外関係の主な動き**

● 3～4日、初の北欧・バルト・エネルギー相会合（於：タリン）。冬季のウクライナ支援やインフラ保護に関して協議し、エネルギー協力に関する声明を発表。

● 3～7日、カリス大統領、イタリア訪問。マッタレッラ大統領と同国のバルト領空監視ミッション参加など地域の安全保障への貢献に関して会談。

● 6～7日、ドナルド・トランプ・ジュニア氏、エストニア訪問。ツァフクナ外相やオンラインカジノ関係者との夕食会に参加との報道。

● 8日、ベーレンドセン・オランダ外相、エストニア訪問。ツァフクナ外相とウクライナ支援や欧州の安全保障強化に関して会談。

● 9日、マッケンティ・アイルランド外相・貿易相兼国防相、エストニア訪問。ツァフクナ外相と会談し、エストニア主導のウクライナ保健・教育プロジェクトにアイルランドが100万ユーロ拠出する内容の声明に署名。

● 9日、カリス大統領、ハラルド5世ノルウェー国王陛下の葬儀に参列。

● 11～13日、ツァフクナ外相、ウクライナ訪問。シビハ外相と会談したほか、ヤルタ欧州戦略会議、NB8ハイレベル会合、エストニアの援助で完成したジトーミル州の教育施設の開設式に出席。

● 13～14日、ミッハル首相、欧州北極サミットに出席（於：フィンランド）。EUに北極地域でより戦略的で積極的な役割を求める共同宣言を採択。

● 13～15日、参議院公式派遣重要事項調査第3班、エストニア訪問。国会、スット・エネルギー環境相、外務省、Eesti Energia社（エネルギー）等を訪問。

● 20～24日、カリス大統領とツァフクナ外相、国連総会及び関連行事に出席。

● 21日、ロシア、国境・移民分野の違反防止等を理由にエストニア国境地帯で26日まで移動を制限との報道。

● 23～24日、テラス地域農務相、ウクライナ復興会議（タリン）準備の一環でウクライナ訪問。農務、地域開発担当の大臣、EU大使、世界銀行東欧担当者と会談し、エストニアの復興事業の重点地域であるジトーミル州を視察。経済代表団が同行。

● 24日、エストニア、EU制裁が解除されたロシアの富豪2人に対する国内制裁を発動。

● 29日、政府、8月のMilrem社（無人走行車両）放火事件はロシア情報機関の指示による破壊工作と断定できる旨発表。外務省は、ロシア臨時代理大使を召致して抗議。

● 29日、ツァフクナ外相、フィンランド訪問。ヴァルトネン外相とウクライナ情勢やタリン・ヘルシンキ間海底トンネル建設に関して会談。

● 29日～10月2日、カリス大統領夫妻、ドイツ、ポーランド、リトアニア、フィンランド、スウェーデンを訪問。退任を前にカウンターパートらと会談。

● 30日、ツァフクナ外相、ラトビア訪問。リンケービッチ大統領及びブラジェ外相とロシア産穀物の輸送阻止等に関して会談し、バルト最大のドローン訓練施設を視察。

### 3 防衛の主な動き

● 8日、スペイン空軍F-18戦闘機、8月末から約1か月間アマリ航空基地に派遣との発表。トルコF-16戦闘機によるバルト防空ミッションを支援。

● 21～25日、タリン防衛週間。飯田将文・防衛研究所先進領域研究部長および小泉悠・東京大学先端科学技術研究センター准教授が登壇したABCD会議や防衛見本市「Defence EXPO」が開催。

● 22日、当地駐留同盟国兵士、約1500人との報道。英国830人、フランス340人、スペイン110人、米国105人、トルコ72人。

### 4 経済の主な動き

● 16日、LEI Register 社、世界最大の LEI（取引主体識別子）コード販売会社に成長との報道。タリンとインドで活動し、売上の半分以上はEU域外から。

● 16日、富豪ランキング（アリパエヴ）：1位ヤーン・タリン氏（スカイプ開発者）資産額約103億ユーロ、2位クリスト・カールマン氏（Wise共同創業者）約19億ユーロ、3位ターヴェト・ヒンリクス氏（Wise共同創業者）約15億ユーロ。

● 22日、エストニア中央銀行、経済予測を発表。今年は成長率2.6%、インフレ3.1%、失業率6.4%、平均賃金上昇率5.5%、GDP比財政赤字4.5%。

● 22日、バルト三国首相、レール・バルティカ建設に関するビデオ会議を実施。共同声明で次期EU予算期間中（2028～2034年）に開通させる旨表明。

● 22日、エストニア、入札で3億7300万ユーロ分の短期国債を発行。

### 5 経済関係統計（出典は特に記載がなければ統計庁）

● 第2四半期平均賃金（3日）：前年同期比+5.5%の2243ユーロ。タリンでは2611ユーロ。

● 8月消費者物価指数（7日）：前年同月比+1.5%。

● 7月貿易（9日）：輸出は前年同月比+3%の15億ユーロ、輸入は+2%の19億ユーロ。

### 6 日本関連報道数

|      | 政治 | 経済 | 文化 | 社会 | スポーツ | その他 | 計 |
|------|----|----|----|----|------|-----|---|
| 現地記者 | 1  | 0  | 4  | 0  | 1    | 0   | 6 |
| キャリー | 0  | 0  | 0  | 0  | 0    | 0   | 0 |
| 不明   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0    | 0   | 0 |
| 計    | 1  | 0  | 4  | 0  | 1    | 0   | 6 |

（注意）以上の記載内容は、エストニア国内の報道をまとめたものであり、当館としてその記載内容に責任を有するものではありません。